



2期「自分の役割を果たす」→3期「自分に挑戦する」

18日(月)に全校集会が行われ、3期がスタートしました。3期は、夏休み終了の8月27日(月)までの長い期間になります。

2期はどの学年も、宿泊研修があり、「自分の役割を果たす」姿がたくさん見られました。そのことで学級が高まり、学級目標達成への第一歩を歩みだすことができました。

3期の目標は「自分に挑戦する」です。

- 自分を律する姿勢づくり：「身だしなみ」としての服装、自分一人でも立ち向かえる清掃、移動教室時・下校前の机の整頓など、その行為の裏にある意味を考えることで、自律した生活ができるよう挑戦します。
- 自律的な学習習慣づくり：夏休みの課題、プラス1などの学習計画づくりを通して、見通しのある長期休みを過ごすことができる自分に挑戦します。
- 夏の健康管理と体力・精神力の向上：熱中症対策や給食残量0など、長期休業を見据えた健康的で規律正しい生活を送ることができる自分に挑戦します。
- 部活動への積極的参加：多くの3年生にとって最後の大会となる中体連の大会があります。1年から3年まで団結し、精いっぱい挑戦します。
- 1学期の締めくくりと夏休みに向かう構えの構築：期末テストの結果、1学期の教育通信から今の姿が分かります。一人でも粘り強く取り組み、やりきることに挑戦します。

ご家庭でも様子を見守り、声をかけていただくと幸いです。

親子講演会が行われました

6月10日(日)にPTA親子講演会を開催しました。日本ペップトーク普及協会代表理事 岩崎 由純さんをお招きして「ペップトークについて」お話をいただきました。

「前向きな背中の一押し」であるペップトークを通して、オリンピックに「出たい」というご自身の夢への挑戦と、形は違っても構わないけれど、その実現を果たしたという内容を、まずもって語っていただきました。そして、具体的なペップトークの例としてサッカーなでしこジャパンでの佐々木監督の言葉や全日本バレー女子チームでの様子を挙げ、そこにいた選手のやる気とパワーを引き出すペップトークの「力」を示されました。



中体連前の生徒たちに向けて、部活動での声かけ一つでも「ペップトーク」をうまく活用すると力が発揮されることもお話しいただきました。生徒の感想には「日本語は目的語が先に来ってしまうので「ミスするな」といわれるとやっぱり誰でもミスした時を想像してしまうなと思ったので、言い方を変えてみんなが前向きになれるように声掛けをしたいと思います。(2年女子)」というものもありました。

また、今月末に予定されている中体連で、実際に使うことができるセルフペップトークの紹介もあったので、感想の中には「7月の中体連が最後の大会ですが、その試合に何とか勝てるように“できる・できる・絶対できる”と思って頑張りたいと思いました。(3年男子)」というものもありました。

生徒たちだけでなく、保護者の皆様にとっては、「子育て」をする上で参考になった岩崎さんの言葉、資料があったため、次のような感想もいただきました。